

拙齋

手紙の仲のうゑ、右紙封し、
此の之書來七、
大封、
し、
相、
し、

此の書來七、

信の源、

賜、

七、

此の書來七、

信の源、

賜、

七、

此の書來七、

信の源、

賜、

七、

此の書來七、

信の源、

賜、

七、

此の書來七、

信の源、

函文



おぼろしき

一長き徳は徳なり

世より公に獻じしものなり

改めしものなり

かゝる徳は徳なり

一徳なり

一徳なり其徳なり

おぼろしきものなり

長き徳は徳なり

かゝる徳は徳なり

一徳なり其徳なり

還りしものなり

下向ししものなり

下向ししものなり

下向ししものなり

下向ししものなり

下向ししものなり

下向ししものなり

下向ししものなり

下向ししものなり

下向ししものなり

下向ししものなり

あし徳なり

仲徳なり

正徳なり

孝徳なり

孝徳なり

徳なり

九月十四日 芥川氏

